

**住んでよかった。住んでみたい。
そう思える永田に！！ (^)o(^)**

発行日：2015 年 4 月 19 日

発行責任者：田中一巳

電話／fax 45-2888

再び区長に立候補しました

田中一巳(かずみ)[66歳]です。

《あっちからも こっちからも 笑い声が！》 そんな永田の雰囲気を作りたくて、2年前に引き続いて立候補しました。

みなさんと一緒にめざしたい私の「永田区」イメージです。

すぐにでも実行したいこと

① 区⇄区民の情報交流紙＝(仮)永田トピックスの毎月発行

- ・行事や出来事。永田の史跡・歴史紹介
- ・区民のみなさんからの写真・川柳などの投稿コーナー
- ・声の紹介、サークル紹介
- ・お店・宿紹介 などなど を掲載。

② ホームページの開設＝これを見れば「永田」のことがほとんど分かるページに。

- ・5年間撮りためてきた「永田風景」。寄せられた「懐かしい永田」写真の掲載。
- ・永田の行事紹介。
- ・トビウオ招き・カメ女踊り、屋久島エレジーなどの紹介
- ・永田の方言集
- ・「かめんこ」「おやどの会」「永田小学校」「ウミガメ連絡協議会」「ウミガメ館」でなどのホームページとの連携(リンク) などなど



みんなで住み良い永田を
築きましょう！

妻に連れられ、永田に暮らして5年

私の今。そして、ついこの前までの役割

- ① かめんこ留学事務局＝本年3月まで、4年半勤める。
- ② 永田ウミガメ連絡協議会事務局＝2014 年4月～2015 年3月の一年間役割果たす。
- ③ 屋久島町文化財保護審議会委員＝(2011 年8月～現在)

永田へ来るまでの私

18歳～61歳までの43年間＝豊中市役所(大阪)で勤務。
幼稚園・学務、文化財保護、スポーツ振興、体育館、市民会館など、ほとんど教育委員会職場に在籍。

すぐに実行 → (その先を展望しながら) 1～2年で実行 …… →

③ 「屋久島の旅は永田から」のキャンペーン(宣伝活動)を展開。

《安房→尾之間周りの「屋久島の旅」を永田周りに！》

・夕日を見ながら永田の宿へ → 星空観察・ウミガメ観察

⇒ 翌日＝永田散歩 [自然観察：よつご・永田浜・

カンカケ岳など]

[歴史散策：両面石敢當・長田城・五輪の塔など]

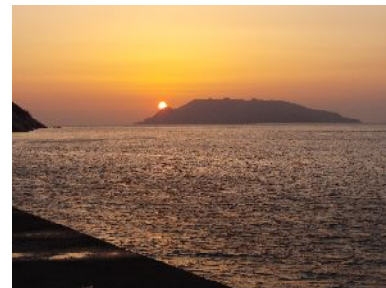
[寺社巡り：五つの神社・二つのお寺]

[浜から灯台まで散策]

・釣り体験・ダイビング・海からの永田灯台見学など

・果物ちぎり(ポンカン・タンカンなど)・田植え体験など

〈これらを組み合わせて、実施できれば〉観光客も楽しく参加できるのでは。



④ 「ワイワイガヤガヤ」みんなが集う永田区(公民館)に。

◇月に一度は公民館に。

カメラ・パソコン・郷土料理・カラオケ・舞踊・ダンス・パッチワークなど趣味を活かせる教室のために公民館を開放。(月1回程度から始める)

◇4年間続いている「囲碁・将棋デー」を充実。子どもも大人も一緒に対局を。

◇収穫した野菜の販売コーナーを公民館前に＝「一の市」的なもの実施に場所提供。

⑤ 永田区の活性化と「人口500人の復活」

◇区の自主財源の確保＝絵葉書・カレンダー・「癒しの音入り」CD[よつごの水音・浜の波音・鳥の声など]を制作し販売 【永田内外の宿・店に。取扱い料を払い、残りは区収入に。】

◇公民館廊下に展示の「懐かしい永田」写真を、その後に寄せられた写真に貼り換えます。その際、蛍光灯増設して展示品を見やすくする。

◇区総会の議案書の事前配布＝総会の場でたくさんの発言をいただくために、先に議案書に目を通していただく。

◇区長選などで投票する選挙権(現在は戸主のみ)を20歳以上の全区民に。

◇永田区の活性化で、当面人口500人復活をめざす。

譲り合う心が育む

互いが一歩譲れば、二歩の空間「ゆとり」が生まれる⇒そのゆとりが会話を生む。人のふれあいと呼ぶ。そんな優しい永田づくりを！！

⑥ みんなの知恵を結集して、(仮称)「永田近未来図」の作成を。

・若者が住める集落。年齢をとっても安心して住める集落。住んでよかったと思える集落＝永田を築くために。

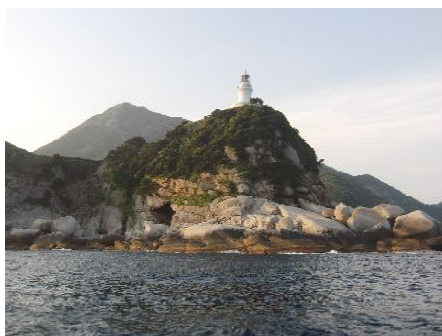
区会議員、行政協力員、さらに永田区の各層先輩など多くのみなさんの声をいただきながら、ともに「永田の将来」を展望します。

当面、雇用確保のための環境をどう作るかを優先しながら、あらゆる角度から検討する場を設けます。

⑦ 永田の歴史・文化を守り、育てよう。＝永田灯台を国指定有形文化財に。

つい先日、京都大学附属図書館所蔵の伊能忠敬が測量した「屋久島地図」をネットで見える機会を得て驚いたところです。

永田には多くの貴重な史跡や碑などがあります。また、5つの神社、2つの寺、さらに3つのエビスなど他集落にはない多さとなっています。豊作・豊漁を願った先人たちの姿が目に浮かびます。



トビウオ招きが歴史民俗資料館(宮之浦)で、大きく取り上げられ、展示されています。

文化的価値ある多くの「永田文化」を守り育てたいものです。

それらのうち、永田灯台(屋久島灯台)が屋久島町文化財保護審議会で「国指定文化財に」の声となり、具体化しつつあります。(灯台は1897年[明治33年]建設)

永田と屋久島の大きな財産になるこのことを是非とも実現したい。委員である私も大いなる働きかけを続けていきます。

⑧ みんなが安心して暮らせる永田に。

◇道路陥没・街灯切れ・水道管破損など発見したら区事務所へ。⇒即応できる体制づくり。

◇防災マップの作成。永田集落あげでの防災訓練の実施。

◇空き家状況など把握し、転入希望者や問い合わせに対応できる区事務所へ。

永田橋は人と人をつなぐ架け橋

七学童事故をきっかけにして、永田区民が力を合わせて作り上げられた永田橋。

最初の橋が出来てから109年になりますが、この橋はこれまでもこれからも「人的」「物的」交流を盛んに行っていきます。橋はまさに「架け橋」です。

たまに橋の上で足を止め、永田岳に連なる山々やそこを流れる雲、川面に映る周辺の景色などを眺めてみるのもいいですよ。(^^)/



戦後70年のこの年に。「二度と戦争の加害者にも被害者にもならない」決意を！

永田の若者70人が戦争犠牲者になったことを忘れてはならない。

20世紀は戦争の世紀といわれました。「21世紀こそは戦争のない世紀に」の願いはもろくも打ち砕かれようとしています。

戦後70年。この機に、戦争体験者の声を聞かなければ、ずっと後悔するに違いありません。

この永田も例外ではありませんでした。70人もの若い命が犠牲になりました。その時代に生きた皆さんの話を聞く機会を作って、平和への誓いをしていきたいと思います。

かめんこ20年。ジョギング屋久島30年。永田灯台まもなく120歳。…

来年、かめんこ留学生20期生を迎えることになります。永田小学校を守るために、永田区民の知恵によって屋久島内で最初に生まれたこの制度。今も続いている。1期から19期まで、全国から延べ219名の留学生を受け止めてきています。

発足20年の区切りに、全国の留学経験者家族に呼びかけて「交流会」を開催できればと考えています。事務局を4年半させていただいた私の願いです。

ちなみに、ジョギング屋久島や永田灯台も区切りの年を迎えています。「かめんこ」と合わせてのイベントになってもいいのではと思っています。

◇5年間で、みなさんと一緒に関わったこと

- ・多くの人の協力・提供をえて、公民館の廊下で「懐かしい永田」写真展。(2011.9～)
- ・46人からのカンパ協力を受けて、区民みんなで「日食グラス」使ったの金環食観察(2012.5)
- ・劇団「都」屋久島公演に実行委員会の一員として、積極的に関わる。(2012.10)
- ・永田中学校閉校前、卒業者名簿の整理・発送作業などの主メンバーに。(2012.4～9)
- ・「永田を元気に！」そんな思いから、「永田の有志」とともに Xmas フェスティバルを開催。(2013.12)
- ・将棋好きの先輩に協力いただいて、子どもたちを相手に月1回続いている「囲碁・将棋デー」は4年になります。
- ・学校の教室を借りて、パソコン講習を二度開催(2011・2012)。少しは普及したのでは。

◇趣味＝ カメラ、パソコン、囲碁・将棋、釣り。(どれも大したことないですが。(^^)/)

◇スポーツ・レクリエーション＝バドミントン、グラウンドゴルフをともに週1回。

◇育てているもの

- ・シイタケ＝4年になります。家で食べる程度ですが…。(^)o(^)

※「丹波の黒豆」栽培に挑みましたが、うまくいきませんでした。(*_*)

